

3月の寄贈品コーナー

木と草の実とたね

会期：2005年 3月19日～4月27日

どんな草木も花が咲き、実がみのります。その実は、なるべく広い範囲に子孫を残すために、さまざまな力を利用して旅をしようとします。あるものは風の力を借り、

またあるものは鳥やけものに食べられて硬い種子だけを糞の中に排出させるという捨て身の作戦をとっています。自力ではじけるものもあれば、とげやねばりで動物の体について運ばれるものもあります。今月の寄贈品コーナーでは、こうした実とたねのいろいろを紹介いたします。外国産の大きな松ぼっくりなども展示しますので、ぜひご来館ください。

なお、博物館で収集した実とたねの標本目録を近々刊行する予定になっています。



写真 典型的なひつつき虫（オオオナモミ）